

ご 案 内

- 本教材及び教材中のイラスト等の著作権は東京都社会福祉協議会及び各引用元が保有しております。
- 本教材中にあるイラスト等は引用元に許諾を得たうえで掲載しております。
- 無断での加工や転載は行わないようお願いいたします。



【自己紹介】

皆さんこんにちは。●●●です。
よろしくお願ひします。

もくじ

第1部 「フクシ」ってなんだろう？

- (1)「フクシ」とは
- (2)私たちの身近な「フクシ」
- (3)なぜ「フクシ」が必要なの？
- (4)「フクシ」の分野(例) <高齢者とは、障害者とは、子どもとは>

第2部 「フクシ」のしごと

参 考 「フクシ」をもっと知るなら？

もくじ

第1部 「フクシ」ってなんだろう？

- (1)「フクシ」とは
- (2)私たちの身近な「フクシ」
- (3)なぜ「フクシ」が必要なの？
- (4)「フクシ」の分野(例) <高齢者とは、障害者とは、子どもとは>

第2部 「フクシ」のしごと

参 考 「フクシ」をもっと知るなら？

【台本】

今回は、第1部の中でも(1)フクシとは(2)私たちの身近な福祉についてお話をさせていただきます。

途中、個人ワークとグループワークを行うことを想定しています。

-第1部-

「フクシ」って

なんだろう？



(1)

「フクシ」とは



〔考えてみよう！〕

- ・「フクシ」ってなんだろう？

【書き出してみよう】

～フクシ(福祉)についてどんな言葉やイメージが思い浮かぶかな？～



【内容】

○ワーク「生徒の福祉に関するイメージの共有」

- ・個人ワーク(1分)
- ・グループワーク(2分)
- ・発表(全体で2分)

○目標設定

- ・福祉について知る、気づく
- ・日常での気づきや活用につなげる

【台本】

それでは、まずは、福祉という言葉について考えてみましょう。

「福祉」という言葉を聞いて何か思い浮かぶものはありますか？

少し時間をとりますので、各自で今、思い浮かんでいる率直な言葉やイメージを枠の中に自由に書き出してみてください。

(1分)

次に、また少し時間をとりますので、今書き出したものを、今度はグループの中で共有しましょう。

(2分)

いかがでしょうか。

では、グループの代表の方は今共有し合った言葉やイメージを教えてください。

(全体で2分)

共有いただきありがとうございます。

各グループから発表していただきましたが、色々な言葉やイメージがでてきたのではないのでしょうか。

これから福祉についてのお話をしていく中で、今共有いただいた言葉やイメージがでてくるかもしれないですし、あるいは初めて知ることや、気づきにつながることもあるかもしれません。

今日の目標は、1つでも良いので福祉について知ること理解することです。

そして気づいたこと、知ったこと、理解したことを日常の中で見つけたり活用していただけると嬉しいです。



福祉ってどんな意味？

<漢字から>

福 祉

「しあわせ」「さいわい」

「**幸せ**」を意味する漢字

福(しめすへん) = 神から与えられるもの、全ての人に平等にあるもの
幸 = 対価を払って獲得するもの

<英語から>

Welfare

(ウェルフェア)

Well-being

(ウェルビーイング)

Well + { fare 賃金
 + being 存在すること
 + } 前に進める

よりよく 生きる

福祉という考え方は **世界共通**で **人々を前向きにする** という意味がある

【内容】

○福祉という言葉の意味の理解

- ・漢字では
- ・英語では
- ・世界共通の概念である

【台本】

では、福祉という言葉にはどんな意味があるのでしょうか。

この、福祉という漢字はどちらにも「しあわせ」という意味があります。

英語ではウェルフェアやウェルビーイングと訳されることがあります。

このように、福祉は日本だけでなく、世界共通でよりよく幸せに生きるために大切な役割があります。

日本でも世界でも

持続可能な開発目標 (SDGs)と日本の取組

目標3 [保健]
あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する

3 すべての人に健康と福祉を

東京都社会福祉協議会

7

【内容】

○世界中でさまざまな取り組みがあることの理解
・SDGs

【台本】

先ほど世界共通で、とお伝えしましたが、この福祉という言葉は、SDGs17の目標にも含まれており、

「すべての人が、心身ともに健康で、その人がよりよくその人らしく生きられるような社会づくりを目指そう」

という目標となっており、世界中で様々な取り組みが行われています。既に皆さんSDGsについてはご存じの方も多いかと思うので、どのような取り組みが行われているかについては個別で調べてみていただくと嬉しいです。



【内容】

〇ここまでのまとめ

- ・福祉の意味の再確認
- ・時代や社会の変化に応じてあり方が変わっていることの説明

【台本】

つまり、福祉とは「すべての人」が「幸福」で安心して生活できるようにする取り組みや仕組みのことです。

生活に関わる困りごとを少しでも良くすること、困っている人を支えること、それが福祉なんですね。実は、福祉とは「これが福祉だ！」という答えはなく、社会の変化に伴い福祉のあり方も変化しています。

基本的な考え方として、福祉は「人々が幸せに暮らすために必要なこと」と捉えていただくと良いのではないのでしょうか。

(2)

私たちの

身近な「フクシ」



【台本】

さて、そんなすべての人が幸せに生活するために大切な福祉ですが、実はとても身近な存在です。



探してみよう！身近なフクシ①



引用:家の中のユニバーサルデザインを探(さが)そう！:富士通 ウェブサイト
(<https://www.fujitsu.com/jp/about/businesspolicy/tech/design/kids/ud/house.html>)

10

【内容】

○ワーク「家の中での身近な福祉に気づく、考える」

- ・個人ワーク(1分)
- ・グループワーク(2分)

【台本】

身近な福祉とはどういったものがあるのでしょうか。

まずは家の中のとある場面で考えてみましょう。

それでは、このイラストの中でフクシがありそうなところに○をしてください。

また、「こういうところに福祉があるといいのではないか」と思うところもあったら、そちらも○をしてください。

まずは、1分ほど時間をとりますので、個人で探してみましよう。

(1分)

出来ましたか？

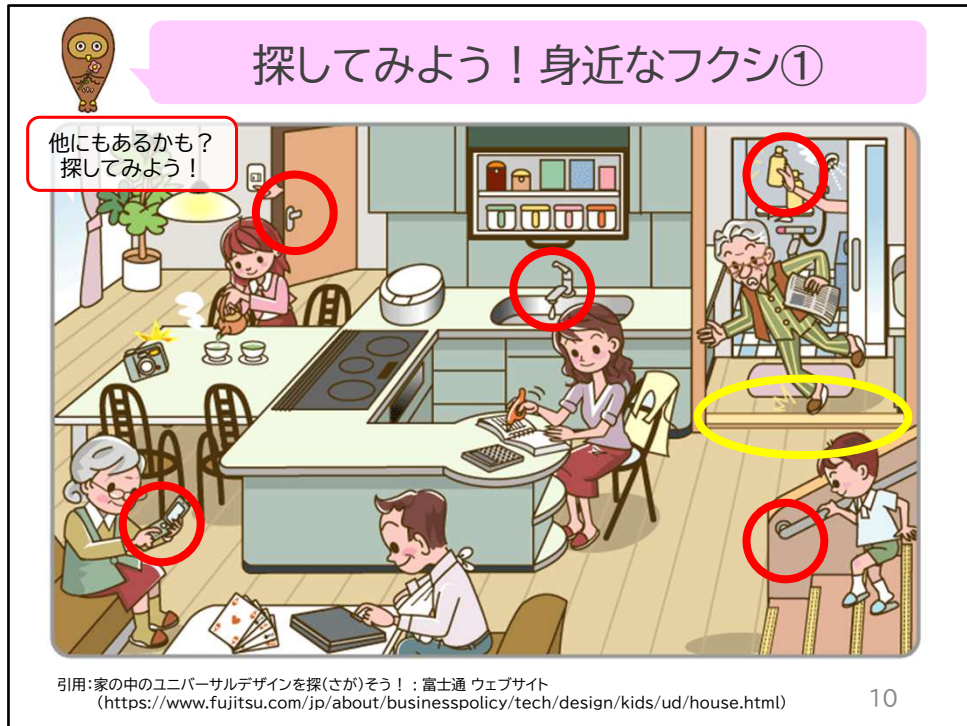
それでは、また少し時間をとりますので、どこに○をしたのか、どうして○をしたのか、についてグループの中で共有をしましょう。

(2分)

いかがでしたか？

いろんな意見が出たのではないのでしょうか。周りの人の話を聞いてみて、自分だと気づけなかった場所や視点はありましたか？

それでは参考までにいくつか紹介させていただきます。



【内容】

○一例紹介

【台本】

<階段の手すり>

まず、1つ目は右下の階段に設置されている手すりについてです。

このイラストの中では子どもが手すりをもって階段を下りていますね。

身体が発育中の小さな子どもにとってもですが、加齢に伴う視力や筋力の低下がある高齢者、妊娠中の方、病気やケガで治療中の方など

手すりはあらゆる人の転倒を防ぐ大切な役割があります。

<スマホ>

2つめは、スマートフォンや携帯電話です。このイラストでは左下に高齢と思われる方が携帯電話を使用している様子が伺えますね。

スマートフォンや携帯電話の機能の中でカメラ機能がありますね。

カメラのズーム機能はルーペとして使用できるため、小さな文字や遠くにある文字を大きくしてみることができるので、

高齢者や視力が低下している人などにとって重要な機能になっています。

その他にも、スマートフォンには「読み上げ機能」というものがあります。

メールなどの文字を音声で伝える「読み上げ機能」は視覚障害のある方にとって、情報を得られるとても重要な機能です。

スマートフォンや携帯電話は人々が生活するうえで必需品になっていますよね。普段みなさんが何気なく使っているスマートフォンですが、

あらゆる人の日々の生活を手助けする大事な役割を担っています。

<シャンプー>

3つめはシャンプーの容器です。このイラストでは、右上に容器を持っている手が見えますね。

実は、市販の多くのシャンプー容器の側面やプッシュする上の部分には、凸凹がついていて、シャンプーだと判別できるようになっています。

これは、視覚に障害がある人などにとって重要なデザインです。今日、おうちに帰ってお風呂に入るときやお店などに行った時にぜひ容器の側面や上部を見てみてください。

<ドアノブ・蛇口>

4つめは、ドアノブや蛇口です。最近のドアノブは取っ手を握って回すもタイプのものではなく、比較的軽い力と単純な動きで開け閉めできるレバー式のものが増えています。他にも自動ドアもありますよね。また、最近のトイレや台所の蛇口には、ひねって開け閉めするものではなく、レバー式のものやワンタッチ式のもの、自動センサー式のものが増えています。いずれも、より多くの人々が便利で使いやすいように考えて設計がされているんですね。皆さんが普段使用する家や学校などではどのタイプのものになっていますか？これからは、少し気にしてみてくださいと良いかもしれません。

<段差>

5つめは、ここに福祉があると良いのではないか、というところを1つ紹介いたします。それは、この黄色い枠のところです。高齢と思われる人がつまづいて転びそうになりますね。

段差を減らし、よりフラットにすることで怪我へのリスクを軽減することができますし、例えば車いすを使用している人でも安心して移動することができます。

<その他、時間等を見ながら>

- ・電気のスイッチ
- ・すべりどめ
- ・右利きでも左利きでも使いやすいもの
- ・タッチタイピング用の突起

このように日常生活の中には福祉に関連していることが沢山あるんですね。その他にも沢山ご紹介したいところはあるのですが、時間の都合により割愛させていただきます。ぜひおうちに帰って探索をしてみてください。



11

【内容】

○ワーク「街中での身近な福祉に気づく、考える」

- ・個人ワーク(1分)
- ・グループワーク(2分)

【台本】

先ほどは家の中で探していただきましたが、今度は街中での福祉に関するものや、福祉があったほうがいいものを探してみましょう。

まずは、1分ほど時間をとりますので、個人で探して○をしてみましょう。

(1分)

出来ましたか？それでは、また少し時間をとりますので、どこに○をしたのか、どうして○をしたのか、についてグループの中で共有をしましょう。

(2分)

いかがでしたか？

こちら先ほどと同様にいろんな意見が出たのではないのでしょうか。周りの人の話を聞いてみて、自分だと気づけなかった場所や視点はありましたか？

それでは参考までにこちらについてもいくつか紹介させていただきます。



【内容】

○一例紹介

【台本】

<点字ブロック>

1つめは、視覚障害者誘導用ブロック、通称点字ブロックです。このイラストでは黄色いブロックが歩道に設置されていますね。

点字ブロックは、視覚障害のある方が、安全に歩くための手がかりになる重要な役割があります。みなさんはこの点字ブロックが何種類あるか知っていますか？

実は2種類なんです。

「とまれ」「危険」などの注意を促す点状の警告ブロックと、

「進め」と歩行する方向を表す線状の誘導ブロックです。

視覚に障害がある方の安全を守る点字ブロックですが、その上に自転車やお店の看板が置いてあったり、様々な障害物が置かれていることも少なくありません。

これらは、歩行の妨げになるだけでなく、ケガや事故のもとになりかねません。

ブロックの上に障害物を置かないよう、一人一人の配慮が安心して暮らせる街づくりにつながります。

<音響式信号機>

2つめは、音響式信号機です。このイラストでは、信号が青になり、音声が流れているようです。

「音響式信号機」とは、歩行者信号が青になったことを知らせる誘導音が出る信号機のことです。

音響付きの信号機は視覚に障害がある方にとってとても重要な役割があります。

最近では音声付きの信号も増えてきていますが、まだまだ少ないです。

もし、青信号になっているのに立ち止まったままにいる「白杖を持っている人」や「盲導犬と一緒にいる人」がいたら「青になりましたよ」とお声かけをお願いします。

<エレベーター>

3つめは、エレベーターです。イラストでは怪我をして松葉づえをついているようです。エレベーターは怪我をしている人、疲れやすい人、車いすを使用している人、ベビーカーを押している人、荷物が多い人などあらゆる人にとって便利ですね。

エレベーターには鏡がついているものが多くありますが、みなさん、この鏡はなんのために設置さ

れているか知っていますか。髪型など身だしなみを整えるために使っている人も多いのではないかと思います。

実は車いすを使用している人が乗り込んだ状態で、中で回転ができない際に、後ろ向きで出るときに後方を確認しながら移動できるようにするために設置されているんです。

その他にも入口と出口で開く扉の位置が違うエレベーターもあつたりしますよね。駅の構内でこのタイプのものを多く見かけますが、これも車いすを使用している人や台車で荷物を運んでいる人などが、後ろ向きで移動しなくとも前を向いて安全に移動できるようにするために設計されています。

エレベーターには様々な工夫がされており、その他にもボタンの位置や点字があつたり音声の流れたりなどより多くの方が安全に利用できるような工夫がされているんですね。

<ドア・改札>

4つめは、自動ドアです。このイラストでは両手に荷物を抱えた人がお店から出てくる様子が伺えますね。

お店にある自動ドアだけでなく、電車やバスなど車両の自動ドア、駅の自動改札も同様に、

車いすを使用する人、腕の力が弱い人、手が荷物などでふさがっている人、ベビーカーを押している人など多くの人にとって便利な設計になっています。

<電車やバスのスロープ>

最後に、ここに福祉があると良いのではないかと、いうところを2つ紹介いたします。それは、この黄色い枠で示しているところです。

まず、右側の黄色い枠のところ。このイラストではスロープを使って車いすを使用している人が移動していますね。

皆さんも駅のホームなどでみかけたところがあるのではないのでしょうか。

スロープを設置することで移動ができますが、それはつまりスロープをその都度改めて設置しないと移動ができないということでもあります。

その都度スロープを設置しなくとも予め設計の中に組み込まれている状態で移動がしやすい、そんな環境になると良いですね。

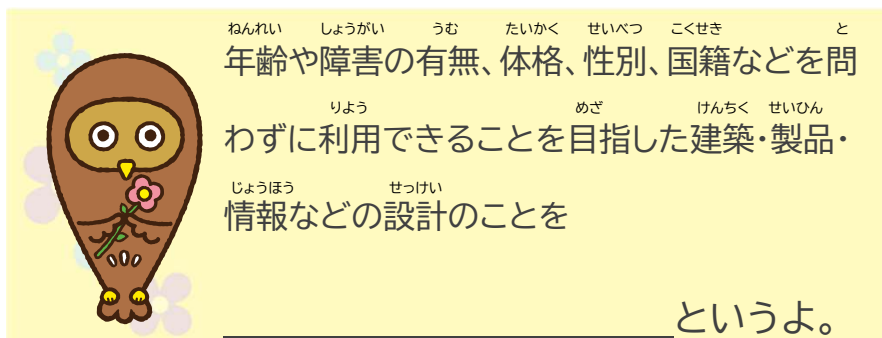
<看板などの多言語表記>

次に、看板などの表記についてです。日本語だけの説明だと海外からの旅行者などにとってはその都度翻訳が必要になり、便利で過ごしやすいとは言えませんよね。駅構内の看板や電車の行先などには英語、中国語、韓国語などが表示されています。商業施設などのパンフレットも日本語版、英語版、中国語版など多様な人が使いやすいように工夫がされています。

その他にもこのイラストの中には福祉や、福祉があると暮らしやすくなる箇所がありますが、今日、帰宅する途中で実際に街の中を見て、ぜひ探してみてください。

もちろん、よそ見は危ないので、交通に気をつけながら探してみてください。よいのではないのでしょうか。


わたしたちが使っている
便利なモノって
実はみんなが便利なものだね。



【台本】

このように、私たちが普段何気なく使っているものや周りにあるものが実はこんなにも福祉に関連している、
ということに気づいていただけたのではないのでしょうか。

わたしたちが使っている
便利なモノって
実はみんなが便利なものだね。



ねんれい しょうがい うむ たいかく せいべつ こくせき と
年齢や障害の有無、体格、性別、国籍などを問
りよう めざ けんちく せいひん
わずに利用できることを目指した建築・製品・
じょうほう せつけい
情報などの設計のことを

ユニバーサルデザイン というよ。

【内容】

○ユニバーサルデザインの説明

【台本】

皆さんが普段使っている便利なもの、その中でも「すべての人」に使いやすいように設計されたもの、

これを、「ユニバーサルデザイン」と言います。

「ユニバーサルデザイン」とは、

年齢や障害の有無、体格、性別、国籍などを問わずに利用できることを目指した建築・製品・情報などの設計のことです。

ユニバーサルデザインは日常の中にあるので、中々気づきにくいかもしれませんが、

このように意識したり探したりすることで、その良さに気づき、理解することができ、

今まで当たり前に使っていたものや身の回りにあるものも「もっと使いやすいするためにはどうすればよいか？」など視点が広がるきっかけになるのではないのでしょうか。

動画視聴

「ユニバーサルデザイン」に関する動画を視聴
(約6分程の動画を視聴した場合を想定して構成しています)



【内容】

ここまでのまとめ

【台本】

それでは、ユニバーサルデザインのまとめとしてこちらの動画を見ていただきましょう。

(以下は参考です。他にも適切なものがあればそちらをご活用いただいても結構です。)

■なすなかにしの新宿区ユニバーサルデザインまちづくり探検隊～ユニバーサルデザインってなあに？～https://www.youtube.com/watch?v=GoH--dF_Z60&t=0s

(8分)

■なすなかにしの新宿区ユニバーサルデザインまちづくり探検隊～どうしてユニバーサルデザインがいっぱいあるの？～<https://www.youtube.com/watch?v=cZl88uLyn3M&t=0s>

(6分)



東京で誕生したマーク、知っていますか？

●2012年(平成24年)に東京で誕生したマークです！



 東京都社会福祉協議会

マーク

2017年(平成29年)7月20日、JIS(案内用図記号)に採用され、全国共通マークになりました。令和3年10月31日時点で、全国に導入されています。

義足(ぎそく)や人工関節(じんこうかんせつ)を使用している方、内部障害(ないぶしょうがい)や難病(なんびょう)の方、または妊娠初期(にんしんしよき)の方など、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくなるよう、作成したマークです。

画像提供:東京都福祉局 障害者施策推進部

13

【台本】

さて、ここからはユニバーサルデザインに関連するマークの中でもこちらのマークについてお話をしていきます。

みなさんはこちらの赤いマークをどこかで見たことはありますか？

関東にお住まいの方は比較的多くの方が1度は目にしたことがあるマークなのでないでしょうか。

私は最近特に、普段利用している電車や駅などで1日1回は見かけるようになりました。



東京で誕生したマーク、知っていますか？

●2012年(平成24年)に東京で誕生したマークです！



 東京都社会福祉協議会

ヘルプ マーク

2017年(平成29年)7月20日、JIS(案内用図記号)に採用され、全国共通マークになりました。
令和3年10月31日時点で、全国に導入されています。

義足(ぎそく)や人工関節(じんこうかんせつ)を使用している方、内部障害(ないぶしょうがい)や難病(なんびょう)の方、または妊娠初期(にんしんしよき)の方など、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくなるよう、作成したマークです。

画像提供:東京都福祉局 障害者施策推進部

13

【内容】

○福祉やユニバーサルデザインに関するマークがあることの紹介

- ・ヘルプマークとは
- ・ヘルプマークの取得方法

【台本】

こちらは、2012年に東京都で誕生した“ヘルプマーク”というマークです。

義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、妊娠初期の方など、外見からは分からなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくなるように、作成されたマークです。

ヘルプマークは、主に東京都内の都営地下鉄の駅務室や都営バスなどで申請すると無料で取得することができます。

現在では、全国に普及しており、東京都以外では、各自治体の役所などで申請することもできます。

また、直接取りに行くことができない人には郵送での対応も行っています。

すぐに使いたいという人には、サイトからダウンロードして印刷し、一時的に使用することもできます。

ヘルプマークの入手方法や取り組みなどの詳細については、「助け合いのしるし ヘルプマーク」と検索していただくと専用サイトで情報を確認することができます。



【内容】

○ワーク「身近でヘルプマークを付けている人を見かけたら」

・場面想定

- * 電車の中
- * あなたが座っている
- * ヘルプマークを付けている人を見かけた
- * 困っているかはわからない。

・個人ワーク(1分)

・グループワーク(2分)

・発表(全体で2分)

・一例紹介

○まとめ

人によってちがう。コミュニケーションをとって、その時、その人にとって一番いい方法を。

【台本】

それでは、ここまで福祉とは、身近な福祉、についてお話をしてまいりましたが、最後に実際に皆さんが電車やバスで、ヘルプマークを身に着けた方を見かけたらどう思うのか、どう対応するのか、について一緒に考えていきましょう。

「あなたは電車の中にいます。そして、ヘルプマークをかばんに付けた人が近くに立っています。でも困っているのか、困っていないのかは分からない状況です。」

さて、こんな時あなたはどのように思いますか？あるいはどのように対応しようと思いますか？

時間をとりますので、まずは個人で考えて書き出してみてください。

(1分)

では、また更に少し時間をとりますので、今書き出したものを、今度はグループの中で共有し合しましょう。

(2分)

いかがでしょうか。

では、グループの代表の方は今共有し合った言葉やイメージを教えてください。
(全体で2分)
共有いただきありがとうございます。

もし電車・バスの中で、見かけたら・・・ということで一例をご紹介します。
外見では健康に見えても、疲れやすかったり、つり革につかまり続けるなどの同じ姿勢を保つことが困難な方がいます。
外見からは分からないため、優先席に座っていると不審な目で見られ、ストレスを受けることがあるんですね。
これは、皆さんの心と体に余裕があるときで大丈夫です。まずは皆さんの健康が第一ですが、もし余裕があるときには
例えば、席を譲ったり、手すりの近くに案内したり、少し勇気を出してお声かけしてみてくださいと嬉しいです。
自分だと直接声をかけるのは難しいな、と感じた場合は駅員さんや周りにいる大人に援助を求めることも方法の一つです。

どうしても中々行動できない人もいます。それは決して悪いことではないです。断われたらどうしよう、怒鳴られたり何か言われたらどうしよう、声をかけるのは恥ずかしい、私には何もできないかもしれない、など色々あると思います。
そんなときは、行動することだけでなく、今日のようにヘルプマークについて知ることや、あたたかく見守ること、その人を理解するということがとても大切であり、実際に直接何か行動しなくてもできることがある、ということも知っていただけると嬉しいです。

ご視聴ありがとうございました



東京都社会福祉協議会 東京都福祉人材センター

【内容】

○全体のまとめ

・今日学んだことを日常の気づき理解活用につなげる

【台本】

さて、みなさんこれまでで福祉について今日初めて新しく知ったことや気づいたことはありますか？それはどんなことですか？

みなさんそれぞれ感じたことや気づいたことは違うのではないのでしょうか。

今まで当たり前に使っていたもの、身の回りにあるものについて、もっとこうしたら使いやすくなるのではないか、便利になるのではないか、など視点が広がるきっかけになったのではないのでしょうか。また、今日知ったことは日常で活用できる場面があるのではないのでしょうか。本日はこちらで終了となります。ありがとうございました。